

## (仮称) 構造業務効率化ワーキンググループ設立趣意書

### (1) 目的

本ワーキンググループ（以下、本 WG と称す）は、主として確認申請時における各審査機関、各判定機関からの質疑項目の抽出を行い、各質疑に対する意見交換を実施し模範的な回答案を作成して、申請業務の円滑化、構造設計者の技術力向上、効率的な設計図書を作成および建築物の品質・信頼性向上に貢献することとします。

その他、構造設計者が抱える疑問や問題点に対し活発に意見交換できる場とします。

### (2) 背景

適合性判定制度が導入された当時から比べれば、構造設計図書の内容・精度が確実に良くなってきていると思われませんが、依然として審査員・判定員の個人的見解等による質疑項目が散見されます。また、構造設計者の思い込みや旧指針による設計等での指摘も存在すると思われませんが、何より各質疑・指摘に対する回答書を作成するために多くの時間や労力を費やしているのが現状であり、場合によっては構造設計者としての信頼を失う可能性もあります。

そこで、多くの構造設計者から過去の質疑・回答事例を持ち寄り意見交換の場として情報交換を行い、最新指針による的確な合理的な回答案を見出すことにより、今後の構造設計案件に活用すると共に構造設計者に時間的・精神的ゆとりができればと思います。

### (3) 活動内容

参加メンバーより過去の質疑項目および回答例を提出して頂き、構造種別・分野別に分類し、各質疑毎に意見交換を行い模範的な回答案を作成します。

現在、審査機関（(一財)日本建築総合試験所）、行政（大阪府）から発行されています「よくある質疑事項の解説」に記載されている項目を含め、皆様が常日頃疑問に思われている項目を中心に議論し、本 WG の成果として纏めていきたいと考えています。

### (4) (仮称) 構造業務効率化 WG の活動

- ①活動期限 : 1年～3年程度
- ②開催日 : 2ヶ月に1回（奇数月の第2火曜日の翌日）
- ③第1回 WG : 11月
- ④その他 : 役員・時間等は第1回 WG にて決定

本WGに関心のある方は、(氏名、勤務先、メール・アドレス、電話番号)を明記の上下記連絡先までメールにてお申し込みください。(締切:10月15日(日)23時59分)特に、若手の方の参加も大歓迎です。

連絡先: 日下部 馨 (E-mail: kusakabe@kcc.zaq.ne.jp)

平成29年9月

(仮称) 構造業務効率化 WG 部会長 神戸大学名誉教授 日下部 馨  
世話役 (株)長谷工コーポレーション 辻 俊明  
伊井 敬二